

あぶたんつうしん

163号

排水ポンプ車訓練を行いました



5月26日、出水時に的確に対応できるよう、白石川にある深川排水樋管前で排水ポンプ車の訓練を行いました。当日は、雨の降る心配もありましたが、雨が降ることなく訓練を行うことが出来ました。

排水ホースの設置手順等を確認しながら、素早く対応出来るように取り組んでいます。



Q.排水ポンプ車ってなあに？

A.台風や梅雨時期などの大雨で住宅地などであふれた水を排水ポンプで吸い込み、浸かるのを防いだり、浸水した場合でも素早く水を減らし、被害を少なくするために使用する車両です。

Q.排水ポンプ車の排水能力はどれくらい？

A.1分間に30m³の水を排水できます。
例えば25mプールの水を13分で空にする能力があります。



▲訓練の様子▼

水防技術講習会

6月10日(土)

水防工法指導者の育成と水防技術の再確認を目的に平成7年度より実施されている「水防技術講習会」が今年度、岩沼市押分地内で行われました。水防団の方々をはじめ、消防本部や関係行政機関も加わって約100名が参加し、工法実習として、出水時に万全な水防対応ができるよう各種訓練を行いました。

また、毎年、関係自治体で水防訓練を実施し、水防団の志気の高揚を図るとともに水防技術の錬磨に努めています。

★講習内容★

- ①基礎工法(土のう作成、縄結び)
- ②水防工法(積土のう、月の輪、シート張り工)



土のう作成



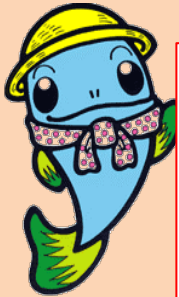
積土のう



シート張り工

6月19日(月)

重要水防箇所合同巡視を行いました



本格的な梅雨期に向けて、堤防等の監視・巡視や水防活動を行う際に注意する必要がある箇所について、岩沼市、亶理町、柴田町の消防団など、関係者およそ40人が参加して合同巡視を行いました。

巡視では、堤防や工作物の危険箇所や対策工事等の実施状況に対する情報を共有し、出水時の水防対応について内容を確認しました。



重要水防箇所とは、

洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所のことです。

あらかじめ水防上重要な箇所を定めておくことで、効率的な堤防点検並びに危険箇所の早期発見につながりやすくなります。



関係機関との 情報共有

岩沼市の阿武隈川左岸8.2kから10kまでのおよそ2kmの範囲にわたって、堤防の土が緩くなっているため、今後、重点監視区間として注意しなければならないことを関係機関と情報共有を行いました。



復旧工事が終了しました

平成29年5月15日(月)に日常点検において、阿武隈川に設置している阿武隈大堰の護床エブロックに変状が発生していることが確認されました。

5月29日から護床工の復旧工事が行われ、6月9日に完成しました。

護床エブロックとは、

河川流水により河床が洗掘されることを防止するために阿武隈大堰の下流に設置されているものです。

護床エブロック

